

やまぐちっ子の学力向上に向けて

平成31年1月
やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

新たな学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現や、教育活動の質を高めるカリキュラム・マネジメントの充実により、急速に変化するこれからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに確実に育成することが求められています。

こうした中、近年の全国学力・学習状況調査における本県の結果は、一定の水準を維持しているものの、特定の内容に関する知識や技能の定着、身に付いた知識・技能を活用する力、家庭学習の充実などに課題が見られます。

これらの課題を改善するためには、新たな学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校におけるカリキュラム・マネジメントを推進することや、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要です。さらに、「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の『組織力』の充実」、「教員の『授業力』の向上」、「学校・家庭・地域の『連携力』の強化」の3つの視点による取組を充実させることが重要であると考えます。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの山口県学力定着状況確認問題や全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、次の提言をまとめました。

— 提 言 —

1 学校の「組織力」の一層の充実

- 教育活動の質を高め、子どもたちの学力向上に向けたカリキュラム・マネジメントの全校体制での取組の充実を促進すること
- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査を活用した年間2回の検証改善サイクルによる全校体制での取組を、引き続き徹底すること
- 学力分析支援ツールを活用した結果の提供等、各学校における課題の焦点化や課題解決に向けた取組の支援を充実すること
- 「学習指導要領の手引き」等を活用した校内研修の活性化による組織的な授業改善の取組を促進すること
- 少人数指導や補充学習の効果的な実施等、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るための個に応じたきめ細かな学習支援を徹底する体制づくりを推進すること

2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 教育課程説明会等を通じた学習指導要領の趣旨の周知・徹底により、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善を推進すること
- 教科の専門性やキャリアステージに応じた研修会等の実施・充実により、個々の教員の授業力の向上を図ること
- やまぐち総合教育支援センターとの連携等により、効果的な指導方法の研究に取り組むとともに、成果の普及を図るための研修を実施すること
- 学力向上推進リーダー・推進教員等の活用により、学習指導要領の趣旨や子どもたちの実態を踏まえた指導方法を工夫するなど、具体的な授業改善の取組を促進すること

3 学校・家庭・地域の「連携力」の一層の強化

- 「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、学校と地域が子どもたちの学力向上に関する目標や課題を共有するとともに、課題解決のための熟議を実施することで、学力向上に向けた取組を促進すること
- PTA組織や家庭との情報共有による学習習慣の確立を図る取組を促進すること
- 接続する学校・幼児教育施設等との合同研修会や乗り入れ指導等、異校種間連携の一層の充実により、指導方法の工夫・改善を図るとともに、子どもたちが安心して学習できる環境づくりを促進すること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上の取組が一層推進されることを期待します。